

「国頭小学校の国頭ヤッコ・仲里節伝承活動の取組」

1. 学校名	和泊町立国頭小学校
2. 学年・人数	全児童 67 人
3. 日時・場所	<p>(1) 練習の日時・場所 令和 7 年 6 月～令和 8 年 2 月 総合的な学習の時間・創意の時間 (本校教室棟 1・2 階オープンスペース, 体育館, 運動場) 令和 7 年 10 月 23 日 (木) 運動会リハーサル (本校運動場) 令和 8 年 1 月 20 日 (木) 発表会リハーサル (あかね文化ホール)</p> <p>(2) 発表の日時・場所 令和 7 年 10 月 26 日 (日) 秋季大運動会 (本校運動場) 令和 8 年 1 月 25 日 (日) 子ども芸能発表会 (あかね文化ホール)</p>
4. 伝承・活用に 取り組んでいる 郷土芸能, 伝統 行事, 伝統工芸 品について	<p>(1) 名 称 国頭ヤッコ (くにがみやっこ), 仲里節 (なかざとぶし)</p> <p>(2) 由 来 (平成 20 年発行「国頭芸能のあゆみ」より一部抜粋) 国頭ヤッコは, 今から 400 年前に琉球から渡ってきたものである。とても踊り好きの人が沖縄に渡って習い覚えた 4 つの踊りがユーモアたっぷり でひょうきんだったので, これらを組み合わせてヤッコと名付けた。 仲里節は, 「琉歌百控」に久米島仲里間切に起こった歌とあり, 伊平屋島 の仲里説, 仲島とする説もある。</p> <p>(3) 構成等 国頭ヤッコは, 2 組に分かれて舞台の左右から登場し, 前後に列で踊り, それぞれ出てきた方向と反対側に引っ込む。これを 4 つの踊りごとに繰り返す。 仲里節は, 女性 4 人 1 組で四ツ竹を両手に持って踊る。踊りは 4 番 まであり, 一曲ごとに隊形を変えて踊るのが特徴的である。</p>
5. 文化財伝承・ 活用の取組にお いて地域との連 携や工夫した点 等	郷土芸能の伝承活動の時間を確保するために, 踊りの練習時間を学校の教育課程に位置付けた。また, 大運動会前は, 保護者と合同のリハーサルの時間を設定し, 大運動会当日の発表がスムーズに進むようにしている。さらに, 3・4 年生の総合的な学習の時間で「三味線」を学ぶ等, 沖永良部や国頭に伝わる郷土芸能の保存・伝承に努めている。
6. 取組の様子 (練習状況, 発表の場等)	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>運動会での披露</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>ガジュマル祭での披露</p> </div> </div>
7. 感想・意見  (参加児童生徒・保護者・保存会・教員等)	<p>【児童】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 運動会では, 上手に踊りを終えることができたので, うれしかったです。ヤッコ, 仲里節がこれからも国頭小で続いていくといいなと思いました。</li> </ul> <p>【保存会】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 運動会で保護者も一緒に全男子児童の「ヤッコ」, 全女子児童の「仲里節」の踊りは, 見る人に大きな感動を与えている。</li> </ul>